

# 令和7年度授業改善推進プラン（調査結果分析シート）

西東京市立芝久保小学校

## 全国学力学習状況調査（小学校第6学年）

	課題が見られた問題の概要	正答率	調査結果を踏まえた成果	調査結果を踏まえた課題
国語	漢字を文の中で正しく使うことができる。	66.1	問題番号1二の正答率が全国よりも12ポイント、東京都よりも9ポイント上回った。語句や情報の相互関係を正しく理解し、書き表すことができているといえる。また、問題番号1三も全国よりも10ポイント、東京都より、7ポイント正答率を上回った。話し手の考えと自分の考えを比較しながら、まとめることが十分にできているといえる。	・書くことにおいて、目的意識や意図を考えながら、相手に伝わりやすい文章を書くことに対して課題が見られる。文章を書く活動では、相手意識や目的意識を明確にししながら取り組むよう指導していく。 ・読むこと（説明的な文章）において、事実と感想、意見の関係や必要な情報を見つけ、関連付けをすることに対して課題が見られる。説明的な文章の読解で、叙述に沿って読む活動を取り入れ、事実と感想、意見を区別して読むことができるように指導していく。
	目的に応じて、文章と図表などを結び付けるなどして必要な情報を見付けることができる。	51.6		
	事実と感想、意見などとの関係を叙述を基に押さえ、文章全体の構成を捉えて要旨を把握することができる。	61.3		
	目的や意図に応じて簡単に書いたり、詳しく書いたりするなど、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫することができる。	62.9		
算数	目的に応じて適切なグラフを選択して出荷量の増減を判断し、その理由を言葉や数を用いて記述できる。	27.4	問題番号3(1)の正答率が全国よりも11ポイント、東京都よりも5ポイント上回った。小数の加法について、数の相対的な大きさをういて共通の単位を捉えることができているといえる。また、問題番号4(2)も全国よりも13ポイント、東京都より、6ポイント正答率を上回った。伴って変わる二量の関係を見出し、式や図を用いて説明することができるといえる。	・二次元表の活用や読み取り、目的に応じたグラフを選択することの理解が不十分である。特にグラフの選択に関しては、グラフを読み取る目的を十分に理解できていない。身近なデータから課題点や問題点を見出し、それを解決するための必要な情報を収集し、PDCAサイクルを設定して課題解決できる学習に取り組んでいく。
	数直線上で、1の目盛りに着目し、分数を単位分数の幾つ分として捉えることができる。	45.2		
	簡単な二次元表の表から、条件に合った項目を選ぶことができる。	71		
	はかりの目盛りを読むことができる。	71		
理科	乾電池のつなぎ方について、直列つなぎに関する知識が身に付いている。	51.6	問題番号1(3)の正答率が全国よりも11ポイント、東京都よりも8ポイント上回った。「地球」を柱とする領域において、結果とまとめを基に、他の条件の結果を予想して、表現することができるといえる。また、問題番号3(1)も全国よりも15ポイント、東京都より、16ポイント正答率を上回った。花のつくりや受粉といった内容の知識が十分に身に付いているといえる。	・実験器具の扱い方や名称の理解が不十分である。実験を行う際に、正式な名称を使って指導していく。 ・実験の結果を考察したり、考えたことを表現したりすることに対して課題が見られる。予想したことと結果を関連付けて考察できるようにするために、考察の話型や視点を提示する。
	顕微鏡を操作し、適切な像にするための技能が身に付いている。	43.5		
	実験の条件を制御した解決方法を発想し、表現することができる。	72.6		
	課題の解決の方法を発想したり、結果や理由を予想したりして、表現することができる。	59.7		